

List of countries subscribing to the Declaration of the Wellington Conference on Cluster Munitions

「クラスター爆弾に関するウェリントン会議宣言」

各国は、2008年2月18日から22日の間、クラスター爆弾の使用により起きる重大な人道的問題を解決するためにウェリントンに集まり、会合を開いた。参加国は、この問題の解決のために、文民に受け入れがたい被害を及ぼすクラスター爆弾を禁止するための法的拘束力をもつ国際的な取り決めに2008年内に実現させることが必要であると確信した。

上記の精神に基づき、この取り決めに以下の点が含まれるべきである：

- ・ 文民に受け入れがたい被害を及ぼすクラスター爆弾の使用、生産、移譲、および貯蔵の禁止、
- ・ 生存者及び本人を取り巻くコミュニティへの十分なケアとリハビリテーションの提供、汚染された地域からの不発クラスター爆弾の除去、危険回避教育、および貯蔵クラスター爆弾の破壊など、これらを実施するための協力と支援の枠組み。

以下の各国は：

ウェリントン会議、ウィーン、リマ、オスロでこれまでに行われた諸会議の成果に勇気づけられ；

クラスター爆弾による人道的インパクトに対処するために開催されたブリュッセル、ベオグラード、コスタリカ会議を含む国、地域のイニシアチブにより勇気づけられ；

国連及びその他の会議のこの問題に対する積極的な支持に勇気づけられ；

また、赤十字国際委員会、CMC（クラスター兵器連合）ほか多くのNGOの積極的な支持に勇気づけられ；

文民に受け入れがたい被害を与えるクラスター爆弾を禁止する法的拘束力をもつ国際的取り決めについて交渉し採択するために、アイルランド政府が2008年5月19日にダブリンで外交会議を開催することを歓迎し；

また、上記の重要な要素を含んだクラスター爆弾禁止条約（1月21日付け）の案文作成に参加した関係者の重要な作業を歓迎し、この条約案をこの宣言文に添付された概要に含まれる他の関連の提案と合わせて、ダブリン会議で考慮されるべき基本的な提案として同会議に提出することを決定し；

文民に許しがたい被害を及ぼすクラスター爆弾を禁止する国際的取り決め作成のための交渉を2008年5月にダブリン会議で終わらせるという目的を確認し；

まだ参加していないすべての国々に対し、この国際的取り決めに完成させる努力に参加している国々に加わるよう招請する。

「クラスター爆弾に関するウェリントン宣言」の署名国リスト:

アルバニア	アルジェリア	アンゴラ	アルゼンチン
オーストラリア	オーストリア	バーレーン	ベルギー
ベリーズ	ベニン	ブルネイ	カンボジア
カナダ	チリ	クック諸島	コスタリカ
クロアチア	チェコ	コンゴ民主	デンマーク
ドミニカ	エクアドル	フィンランド	フランス
ドイツ	ガーナ	グアテマラ	バチカン
ホンジュラス	ハンガリー	アイスランド	インドネシア
アイルランド	イタリア	日本	ケニア
クウェート	キルギスタン	ラオス	レバノン
リトアニア	ルクセンブルグ	マケドニア	マダガスカル
マラウイ	マレーシア	マリ	マルタ
マーシャル諸島	モーリタニア	メキシコ	モルドバ
モンテネグロ	モロッコ	モザンビーク	ネパール
オランダ	ニュージーランド	ナイジェリア	ニウエ
ノルウェー	パラオ	パプアニューギニア	パラグアイ
ペルー	フィリピン	ポルトガル	サモア
セネガル	シエラレオネ	スロバキア	スロベニア
南アフリカ	スペイン	スーダン	スウェーデン
スイス	ウガンダ	イギリス	ウルグアイ
バヌアツ	ザンビア		